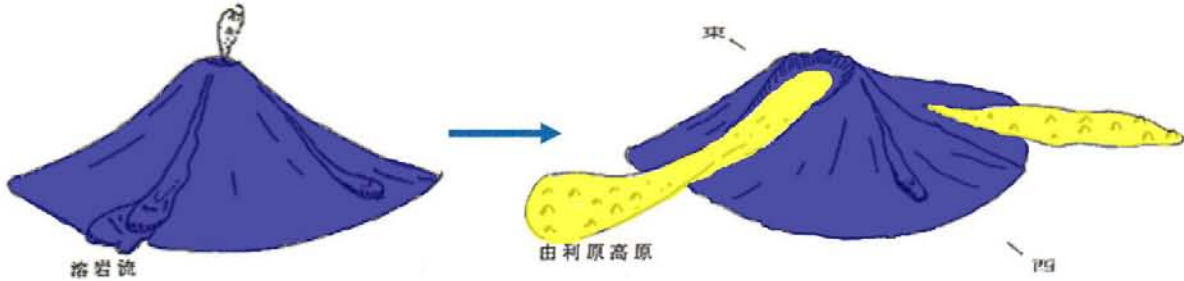


鳥海山の火山形成史

※中野俊氏HP「鳥海火山」に一部加筆・修正

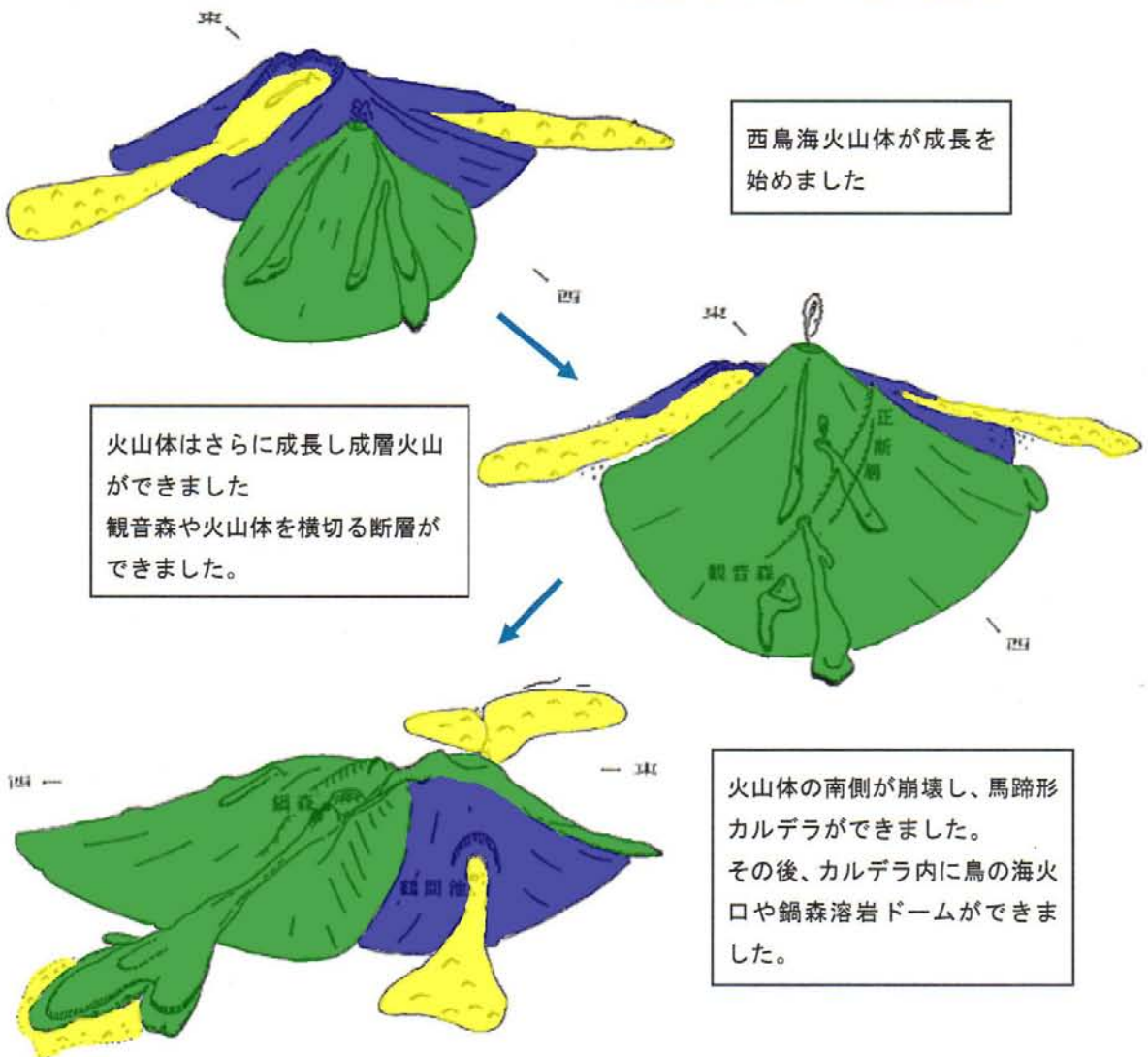
(1) 第1期 (約55万年前～約16万年前) = 古期鳥海火山体の活動期



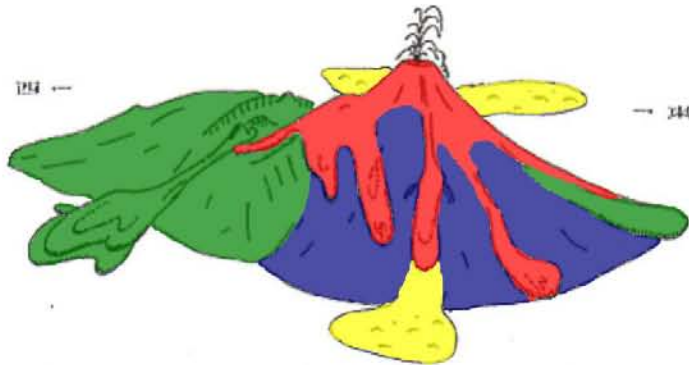
最初はきれいな成層火山でした

北方と南方で広範囲に岩層なだれが発生しました

(2) 第2期 (約16万年前～約2万年前) = 西鳥海火山体の成長と崩壊

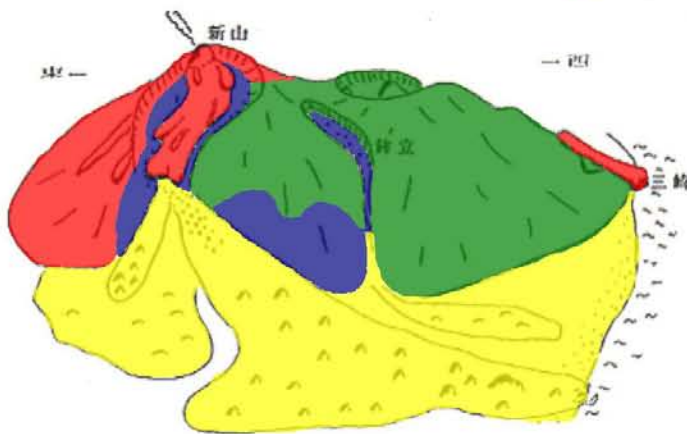
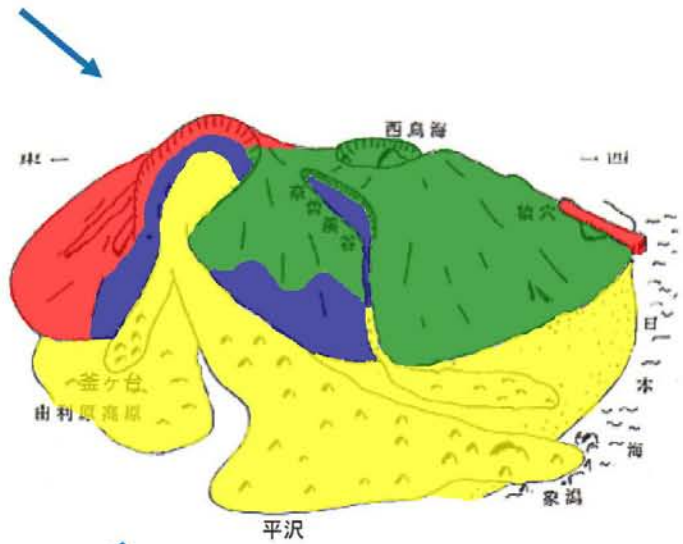


(3) 第3期（約2万年前～現在）＝ 東鳥海火山体の成長と崩壊







東鳥海火山体が成長し、成層火山ができました。

約 3,000 年前に西鳥海火山体の中腹から猿穴溶岩が噴出しました。
 約 2,500 年前に北側が崩壊して、象潟岩層なだれが発生し、海まで到達しました。
 このために平沢～象潟が陸地となりました。また崩壊によって、東鳥海火山体に馬蹄形カルデラができました。



馬蹄形カルデラ内で新しい溶岩が何度も噴出し、1801年には新山溶岩ドームができました。

-  河川堆積物，火山岩屑および滑落ブロック
 -  第3期溶岩類
 -  第2期溶岩類
 -  第1期溶岩類
- } 鳥海火山噴出物

鳥海火山の地質図

※「空からみる日本の火山」 荒牧ほか(1989)より

